

# 又ますだ 市議会だより

広報から「市議会だより」を抜き取られると読みやすくなります。



二川小学校とその周辺

次回定例会の予定は  
12月3日(月)～21日(金)です。

なお、正式決定は11月下旬の議会運営  
委員会で行います。議会事務局までお問い合わせください。  
(☎31-0490)

本会議場の様子をインターネットに加え、  
ケーブルテレビでご覧いただけます!!

詳しくは、4ページをご覧ください。

## 第496回 9月定例市議会

9月定例市議会は、9月3日から27日までの25日間開催されました。

会期中に審議した案件は、予算12件、条例3件、人事5件、認定16件、一般2件、報告2件、意見書2件、その他請願3件、陳情1件でした。また、市政全般にわたって、23名の議員が一般質問を行いました。

第496回  
定例会

こんなことが決まりました

## 入歳出決算の認定について

## 平成24度一般会計補正予算の主な内容

財政調整基金等積立金	2億8,935万円
地域振興基金積立金	2億円
道路更新防災等対策事業費	8,970万円
高津川クラインガルテン等開設事業費	4,435万円
過疎道路整備事業費	3,280万円

田市匹見財産区管理委員会

報告事項

# 地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づく報告

## 今期議会で可決し 関係機関に提出した意見書

- 「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書
  - 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

条例の一部改正

選挙管理委員会委員及び同補充員

7月29日執行の益田市議会議員補欠選挙で新たに1名の議員が決まりました。任期は平成27年9月8日までです。

☆新議員の紹介☆

## 9月議会の審議結果

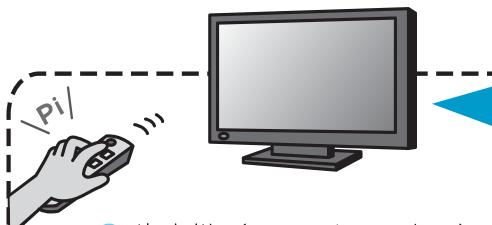
議案番号	議 決 案 件	議決結果	議決態様
(市長提出議案)			
議第 85 号	平成 24 年度益田市一般会計補正予算第 3 号	可 決	挙手多数
議第 86 号	平成 24 年度益田市施設貸付事業特別会計補正予算第 1 号	可 決	挙手全員
議第 87 号	平成 24 年度益田市介護保険特別会計補正予算第 1 号	可 決	挙手全員
議第 88 号	平成 24 年度益田市国民健康保険事業特別会計補正予算第 1 号	可 決	挙手全員
議第 89 号	平成 24 年度益田市後期高齢者医療特別会計補正予算第 1 号	可 決	挙手全員
議第 90 号	平成 24 年度益田市国営土地改良事業特別会計補正予算第 2 号	可 決	挙手全員
議第 91 号	平成 24 年度益田市市有林事業特別会計補正予算第 1 号	可 決	挙手全員
議第 92 号	平成 24 年度益田市造林受託事業特別会計補正予算第 1 号	可 決	挙手全員
議第 93 号	平成 24 年度益田市匹見財産区特別会計補正予算第 1 号	可 決	挙手全員
議第 94 号	平成 24 年度益田市農業集落排水事業特別会計補正予算第 1 号	可 決	挙手全員
議第 95 号	平成 24 年度益田市駐車場事業特別会計補正予算第 1 号	可 決	挙手全員
議第 96 号	平成 24 年度益田市水道事業会計補正予算第 1 号	可 決	挙手全員
議第 97 号	益田圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置条例制定について	可 決	挙手多数
議第 98 号	益田市立飲料水供給施設設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	可 決	挙手全員
議第 99 号	益田市簡易水道事業設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	可 決	挙手全員
議第100号	公有水面埋立てについて	可 決	挙手全員
認定第 1 号	平成 23 年度益田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手多数
認定第 2 号	平成 23 年度益田市施設貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第 3 号	平成 23 年度益田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手多数
認定第 4 号	平成 23 年度益田市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手多数
認定第 5 号	平成 23 年度益田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手多数
認定第 6 号	平成 23 年度益田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第 7 号	平成 23 年度益田市国営土地改良事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手多数
認定第 8 号	平成 23 年度益田市市有林事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第 9 号	平成 23 年度益田市造林受託事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第 10 号	平成 23 年度益田市匹見財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第 11 号	平成 23 年度益田市益田駅前地区市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手多数
認定第 12 号	平成 23 年度益田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第 13 号	平成 23 年度益田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第 14 号	平成 23 年度益田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第 15 号	平成 23 年度益田市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第 16 号	平成 23 年度益田市水道事業会計決算の認定について	認 定	挙手全員
報第 15 号	健全化判断比率について	報 告	
報第 16 号	資金不足比率について	報 告	
議第 101 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意	起立全員
議第 102 号	教育委員会委員の任命について	同 意	投票
議第 103 号	行政情報公開不服審査会委員の任命について	同 意	起立全員
議第 104 号	益田市匹見財産区管理委員の選任について	同 意	起立全員
(議員提出議案)			
議第 84 号	常任委員会委員の所属変更について	可 決	挙手多数
選挙第 2 号	選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について	選挙執行	指名推選
議第 105 号	「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書について	可 決	挙手多数
議第 106 号	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書について	可 決	挙手全員

## みなさんからの請願・陳情審議結果

### 9月定例市議会受理分

請願番号	件 名	提出者	議決結果	議決態様
7	「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書の提出について	アジアと日本の平和と安全を守る島根県フォーラム 会長 細田 重雄	採 択	挙手多数
8	米軍普天間基地にMV22オスプレイを配備すること及び全国的に広がる低空飛行訓練ルートでのオスプレイの低空飛行訓練計画に反対する意見書の提出について	米軍の低空・戦闘訓練飛行の即時中止を求める益田地域連絡会 会長 亀山 将	不採択	挙手多数
	オスプレイの配備、訓練については、国民に対し、その安全性等を十分説明、理解を得た上で行うべきと考える。しかし、配備等については、国防、日米関係等の国政に関するこあり、本請願の趣旨について賛同しかねる。よって本件については不採択と決した。			
9	国民生活の最低保障基準の土台をなす生活保護制度の改悪ではなく、国が責任をもつて保障することを求める意見書の提出について	日本共産党益田市委員会 副委員長 岡崎 久	不採択	挙手少数
	※本請願は付託された文教厚生委員会において採択すべきものという結果でしたが、議会での表決は不採択となりました。			

陳情番号	件 名	提出者	議決結果	議決態様
4	主要地方道浜田美都線の全線2車線改良について	浜田美都線の早期全線2車線化を願う会 代表者 村上 忠登 外24名	採 択	挙手全員



**ケーブルテレビ (ひとまろビジョン)**  
**定例会・臨時会どちらも放映**

- 生中継 (112チャンネル) … 定例会及び臨時会の本会議場での会議を開会から閉会まで中継
- 再放送 (111チャンネル) … 定例会での一般質問の様子を全質問者の日程終了の翌日から質問順に1日1人ずつ放送 (土日を除く)

**インターネット 定例会での一般質問を録画配信**

- 一般質問の様子の録画中継を全質問者の日程終了1週間後から配信  
※好きな時間に聴きたいところを選ぶことができます。

益田市HP内 (<http://www.city.masuda.lg.jp/>) 「益田市議会」よりご覧ください。

問 学校給食センターは、一  
力所集中型でなく分散方式に  
変更するのか。

答 食育、地産地消、リスク  
分散、さらに地元雇用の維持  
などを考えている。

問 分散方式においては、食  
材の調達、コスト面などのリ  
スクがあると思うが。

**所信表明**

**清心会  
安達 幾夫 議員**

**代表質問（4名）****市民の声を代弁する  
一般質問の掲載について**

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が要約し掲載しています。詳細については会議録をご覧ください。

問 公設民営の方向は、継承  
するのか。

答 検討して、議会に諮りた  
い。

問 全国的に少子高齢化が進  
んでいる。本市の人口拡大に  
つながる施策とは何か。

答 産業振興、防災対策と社  
会基盤の整備、子育て世代の  
支援、教育環境の充実、医  
療・福祉の充実を考えている。

問 イターネットについては、  
本当にすることである。

問 原発が見直される中、代  
替エネルギーとして、本市に

答 一番大きいのが人件費で  
あるが、リスクとは捉えてい  
ない。建設費については、建  
設計画を見直したい。

問 公設民営の方向は、継承  
するのか。

答 検討して、議会に諮りた  
い。

問 益田川左岸地区土地区画  
整理事業について、当初の約  
束である南部地区の着手を関  
係者が待ち望んでいる。南北  
が整備されることで相乗効果  
も生まれると考えるが、市街  
化推進のためにも、速やかに  
南部地区の着手に取り組んで  
ほしい。

答 南北一體的な整備開発  
は、事業効果・市街化の推進  
に欠かせない。早急に検討し  
ていく。

**政治姿勢**

**市民クラブ  
松原 義生 議員**

答 検討していただきたい。  
問 益田赤十字病院も平成27  
年には開院の予定である。駅  
北側昇降口・連絡道は住民の  
利便性の上からも必要である。  
中心市街地の発展のため、  
早期に着手してほしい。

答 JRと建設費など協議を  
しているが、事業化を推進し  
ていきたい。

答 重要性は充分理解してお  
り、先月国交省等に要望した。  
大塚の堤防も平成26年度完成  
を目指している。浸水地域の  
水を吐き出すポンプ車の整備  
も要望している。今後もきめ  
細かに取り組んでいただきたい。

答 250人体制について問  
う。

答 急激な職員数の削減は市  
民サービスの著しい低下に通  
じる。明るく安心して暮らせ  
るまちづくりに必要な職員数  
を考え、「定員適正化計画」  
の再構築を行う。

**職員体制**

問 市政立て直しの基本姿勢  
を問う。

答 市政の混乱、減少する人  
口、地域経済の低迷が改善さ  
れない。市役所組織が活発に  
動き、対話を通じた公平公正  
な物事の決定と、互いに融和  
協調する市政を推進したい。

所信表明

問 250人体制について問  
う。

答 中須会館改修の陳情・要  
望に前向きに取り組んでほし  
いが。

答 6月議会に引き続いて再  
度質問をされ、議員及び地域  
の方々の厚い要望を感じてい  
る。平成17年に議会で陳情が  
採択され、さらには地元でも  
建設資金の積み立てを始めて  
いただいている。市は市民の  
生命財産を守ることが最重要  
課題であり、防災・安全・安心  
の補助事業を模索し、期待に  
沿えるように知恵を出したい。

答 着手の時期は、北部地区の保留地が売れてからということではない。南部地区の保留地の売れ行きの見込みを考えながら、着手の時期を検討したい。

問 新学校給食調理場の考え

答 現在教育委員会に対しても指示し、基本は公設民営だが、さらにもう一度幅広い視野で計画そのもの、運営方式も含めて検討している。また、どのようにが望ましいか順次議会に諮りたい。



政策会派ますだ未来会議  
久城 恵治 議員

### 所信表明と公約

問 中須東原遺跡は今後どう対応するのか。

答 中世の益田が東アジアに開かれていたという、日本の歴史全体の中でも非常に重要な遺跡である。益田文書と整合し、裏づけが取れ全国からも注目が集まっている。「出合工区」の地権者には、当初区画整理事業での協力をお願いしたが、今回遺跡全面保存での購入のお願いに変えた。これを再度変えるのは、市民に対する市政の信頼感を大きく損なう。大前提として地権者に対し、遺跡の保存方法と買い取り価格を提示し、

問 人口拡大計画目標「5万人」について。この目標は、公約としてとらえていいか。

答 これは公約というべきものではない。目標数値である。高いハードルであるが、それに向かつて今後取り組んでいく。選挙中に訴えた公約については、どうしていくのか。

問 今後緊急性、重要性、実現の可能性を考え、25年度予算から盛り込んでいく。

答 基本的には継続していく。

250人体制といろいろな本部については、見直す必要がある。

問 行財政改革について、財政非常事態宣言をどう考えるか。

答 今現在は、危機の状態にはないと思う。しかし、基金残高や合併算定替えのことを考えると、まだまだ厳しい運営が必要である。財政非常事態宣言を取り下げるには、まだ精査が必要。

問 総人件費の抑制に努めるにあるが、どうか。

答 削減ありきではない。職員一人ひとりのパフォーマンスを上げることが大事。

問 総人件費の抑制に努めるにあるが、どうか。

答 削減ありきではない。職員一人ひとりのパフォーマンスを上げることが大事。

問 総人件費の抑制に努めるにあるが、どうか。

答 削減ありきではない。職員一人ひとりのパフォーマンスを上げることが大事。

問 文化庁の歴史文化基本構想、そして歴史まちづくり法

問 市長の目標すべき「益田市の将来像」とは。

問 市長の目標すべき「益田市民の幸福の実現である。



歴史を活かしたまちづくり「三宅御土居想像図」  
(イラスト 香川元太郎)

利用のための活用ビジョンを示すことが、今一番問われている。

と、第5次総合振興計画にもその方向性が明記してあるが、その考えでいいか。また文化施設の利用方法には、審議会の答申も出ており、民間の方々の知恵を借りながら進めていく必要があると思うがどうか。

答 市民の方々の協力のもとに進めていく。

答 益田市民の幸福の実現である。

答 市長の目標すべき「益田市の将来像」とは。

答 益田市民の幸福の実現である。

答 本来、議場において議論すべきなのは抽象的な理念や

と、第5次総合振興計画にもその方向性が明記してあるが、その考えでいいか。また文化施設の利用方法には、審議会の答申も出ており、民間の方々の知恵を借りながら進めていく必要があると思うがどうか。

答 市民の方々の協力のもとに進めていく。

答 益田市民の幸福の実現である。

答 市長の目標すべき「益田市の将来像」とは。

哲学、それに終始するのではなく、それに裏打ちされた個別具体的な政策の是非ではないかと思っている。その前提の上で、あえて私の政治理念を言えば、市政の最大の使命は、市民の幸福の実現である。

問 所信表明の中で「長らく続いた市政の混乱と後退に終止符を打ち」とあるが、その根拠は。

答 この20年、4人の市長が短い期間、政権を担当された。それが市内の政治の混乱、そして市外から見たとき、益田市政のある意味落ちつきの無さといったことにつながっている。私は市政の全面において混乱、後退したとは言わないが、総体としてはやはり混乱と後退という面が強かつたと捉えている。

問 財政非常事態宣言は継続されるのか。数値的、財政指標的な検討をいつまでにするのか。

答 当面継続し、今後、どういった指標でいかなる時期に、この財政非常事態宣言の取り扱いについて考えていくべきか、なるべく早く検討して示したい。

哲学、それに終始するのではなく、それに裏打ちされた個別具体的な政策の是非ではないかと思っている。その前提の上で、あえて私の政治理念を言えば、市政の最大の使命は、市民の幸福の実現である。

問 所信表明の中で「長らく続いた市政の混乱と後退に終止符を打ち」とあるが、その根拠は。

答 この20年、4人の市長が短い期間、政権を担当された。それが市内の政治の混乱、そして市外から見たとき、益田市政のある意味落ちつきの無さといったことにつながっている。私は市政の全面において混乱、後退したとは言わないが、総体としてはやはり混乱と後退という面が強かつたと捉えている。

問 財政非常事態宣言は継続されるのか。数値的、財政指標的な検討をいつまでにするのか。

答 当面継続し、今後、どういった指標でいかなる時期に、この財政非常事態宣言の取り扱いについて考えていくべきか、なるべく早く検討して示したい。

問 学校再編は教育の質の観点から見直すと言っているが、どう見直すのか。

答 学校再編は学校の質を高める。また、その地域のそれぞれの方を考える内容を含めて検討する。全面的見直しもあれば部分的見直しもある。全面的見直しの中には廃止も含まれる。

問 学校給食センター建設問題、安全安心な給食の提供を急がなければと思う。基本計画を見直すと言っているが、どの部分をどう見直すのか。

答 早急に建設整備は進めないといけない。分散化の見直し案については早急に示したい。供用時期も今後示したい。供用時期については今の計画の時期より、なるべく遅れることのないように進めていく。今、教育委員会が見直し作業をしている。

## 個人質問（19名）

### 政治姿勢



寺井 良徳 議員

問 国の史跡指定になつた益田氏城館跡（三宅御土居跡・七尾城跡）については、現在4年目の公有地化の取り組み中だ。整備計画の策定を視野に入れ、復元に向け将来計画をどう考えているか。

答 市の財政状況を踏まえたがら地元と連携し、遺跡の環境整備と普及啓発を中心には、引き続き事業に取り組む。

問 深刻な地域経済政策を緊急に取り組むため、体制の基盤強化が求められるが。

答 外貨を獲得、循環させ、雇用・所得の増大に結びつけたい。

差。県の公共事業は浜田市134億円に対し益田市51億円と2・6倍の差であり、4年前頃より、大きな違いが出てきている。国・県との強いパイプと、予算確保の取り組みを考えないといけないが。

答 公共事業の予算も半減している難しい時代であるが、国・県に強く働きかけていく。

問 市長・市議（補欠）選挙

問 投票時間の繰り上げ短縮と経費の削減に向け努力された。職員も非常に速いスピードでできぱきし、市民の評価も高かった。どのように分析されているか。

答 経費削減効果も約30万円程度出た。職員それぞれ自分の役割を理解し、スマーズな開票作業結果であつた。

問 期日前投票の状況は。

答 不在者投票と合わせて約6,700人の利用者。有効投票者数のうち約24%で、回を重ねる毎に増加してきている。

答 入場券の発送については、郵便事業会社と相談して早めたが、残念ながら複数の地域より選管にも数多くの苦情が寄せられる結果となり、お詫びする。

問 投票場所によつては、高齢者が杖をついて急な坂を上つて行かなくてはならない所や、道幅が狭く、車1台がやつと通るくらいの所など、安全性の問題がある。駐車場等利便性を検討される考えはないのか。

答 問題のある場所については、投票区内に適当な公共施設等があるか見直し検討を進めいく。



迅速な開票作業



益田市の各種納税通知書



井藤 章雄 議員

### 納税通知書の様式と延滞金の調定事務

答 適正な収納事務は当然であり、公平公正は基本にあるべきと考える。

問 県下の各自治体の延滞金収納事務の取り扱いはどうか。

答 本市と同じ差押えの場合などに請求している対応がほとんどである。納期を過ぎた者に対して請求しているところが一つある。

問 法律に基づく延滞金収納事務は、いつを目途に改善を図るのか。

問 各種納税通知書の様式をもつと市民にわかりやすく、工夫改善する考えはないか。

答 他の市町村の様式も参考にして、わかりやすい様式に改善を検討したい。

問 収納率向上に向け、収納事務の適正化を図る必要があると考えるがどうか。

答 平成25年度から対応したい。業務内容について普段からこれでよいのか、工夫する点はないか等を常に考え、市民サービスの向上に応える必要があると考えるがどうか。

答 行政サービスの向上は責務であり、業務改善には一層積極的に取り組みたい。

問 いじめ問題とアウトメディア対策

答 いじめの減少と解決に向け各学校が取り組むべき対応と、周知をどのようにしてい

答 命の大切さやいじめの早期発見、早期対応に積極的に取り組むこと、校内指導体制の確立を各校長に文書で通知している。また、学校教育課内に子ども支援チームを新設したところである。

問 児童・生徒のいじめやアウトメディアについて、取り組みをどう進めるのか。

答 学校教育と社会教育との連携、そして学校、家庭、地域が連携する方向を目指したい。

問 最近図書の利用が増えていると聞いている。アウトメディア推進のためにも重要と考えるが、今後対策等があるか。

答 アウトメディア推進のためには、読書への興味や関心が高まることに大きな関わりがある。関係機関との連携強化を図りながら、学校図書館を活用した事業の推進をしたい。

問 市長の所信表明には、理念・哲学・志と見識が感じられない。覚悟を問う。

答 明るく安心して暮らせるまちを市民・議会・行政が対話していくことで融和、協調を図る。

問 行財政改革は財源確保のため不断の課題ではないか。

答 同感である。

問 後援会のリーフレットは「公約」と理解してよいか。

答 基本的には公約であるが、一部は目標値とするものもある。

問 「人口拡大計画は目標であり、達成にはこだわらない」

答 談を受け適切な支援を行っている。

問 新聞の記者会見で支援・支持について記載されているが、んな支援を受けたのか。

答 組合という団体から公式には受けっていない。組合員が個人の立場で支持されたことはあつたかもしれない。

答 選挙で市職労組合からどんな支援を受けたのか。

答 市職労組合から推薦、支援は受けていない。



大久保 五郎 議員

### 所信表明

答 という発言の真意は達成のために全力を傾けるという意味である。

答 選挙で市職労組合からど

ういう意味である。

答 選挙で市職労組合から推薦、支

持について記載されているが、選挙で市職労組合から推薦、支





疎地域自立促進計画においても、長期間滞在を受け入れる二地域居住等の推進事業に取り組むこととしている。



## 滞在型市民農園 ブルーメンやまと (兵庫県多可郡多可町)

問 長期滞在者が、共同で利用することのできるレンタル用のミニ耕運機や、市内での買物手段として、再生可能エネルギーを活用したレンタル用電気自動車の購入も必要と思うが。

答 長期滞在者が市内を移動する交通手段として、自家用車は必要不可欠と思う。今後、検討したい。

問 建設整備と並行してクラインガルテン開園情報を早く発信し、利用者の募集等の予約を受け付ける体制が大変重要であるが。

医療・福祉の充実

問 益田市の医療・福祉の現状について問う。

答 勤務医の数が10年で3分の1に減少し、益田赤十字病院の脳神経外科医も不在となり、昨年には産婦人科医が1名となる危機的状況を体験した。また看護師・薬剤師など医療従事者の不足など深刻な状況と認識している。医療体制の充実は市民や議会・病院や行政が議論しあえる関係を構築し市民の不安の解消を行

課題は多いが、住民の要望と病院側の考えを十分に認識する必要性があると考えている。

問 高齢者福祉施設の入所待機者ゼロの取り組みについて問う。

答 高齢者人口は2025年にピークを迎える推計であるが、平成24年1月現在、特養の待機者が491名、重複しているがグルーピングホームの待機者は220名で第5期介護保険事業計画において施設整備及び増床等を計画している。また、在宅サービスの拡充も視野に検討していく。

地域活性化総合特区事業



中島 守 議員

問 津川クラインガルテン等整備事業の計画の概要について問  
補正予算に計上された高

問 今回、高津川流域の本市と津和野町、吉賀町の一市二町で総合特区が採択され、本市で事業実施が可能となつた。実施には相当のコストがあるが、本市は何を目指すのか基本的な理念が大変重要であるが。

答 現在全國65カ所でクライ  
ンガルテンの整備がされてい  
る。この事業を成功させるた  
めには、他との差別化によつ  
て、利用者に選んでいただけ  
る整備が必要不可欠と考えて  
いる。

は少な過ぎる。管理運営費を利用料だけで賄うことは難しいのではないか。

問 益田市の医療・福祉の現状について問う。

答 勤務医の数が10年で3分の1に減少し、益田赤十字病院の脳神経外科医も不在となり、昨年には産婦人科医が1名となる危機的状況を体験した。また看護師・薬剤師など医療従事者の不足など深刻な状況と認識している。医療体制の充実は市民や議会・病院や行政が議論しあえる関係を構築し市民の不安の解消を行

課題は多いが、住民の要望と病院側の考えを十分に認識する必要性があると考えている。

問 高齢者福祉施設の入所待機者ゼロの取り組みについて問う。

答 高齢者人口は2025年にピークを迎える推計であるが、平成24年1月現在、特養の待機者が491名、重複しているがグルーピングホームの待機者は220名で第5期介護保険事業計画において施設整備及び増床等を計画している。また、在宅サービスの拡充も視野に検討していく。

## 大賀 滿成 議員



答　開園情報、入居者募集情報の発信については、市のホームページやインターネット等、また姉妹都市の高槻市、交流都市の川崎市を中心的に募集をしていきたい。

うことが私の使命と考える。  
問 益田赤十字病院の新病院建設の進捗状況と市の財政負担について問う。

答 予定通り平成25年9月着工と聞いている。市の負担についても変更なく一般財源べースで2億6千万円の見込みである。

## 子育て支援

問 子育て環境の認識について問う。

答 子育てを取り巻く環境は少子化、核家族化、雇用環境の悪化等、非常に厳しい状況であると考える。家庭での子育て機能の低下が危惧され、引き続き家庭、地域、学校が一体となつた地域ぐるみの子育て支援を進めていく。

問 母子家庭への支援について問う。

答 母子家庭への支援として、母親が看護師等の資格を取得することによって、就労と生活の安定を目的とした資格取得に対する支援事業がある。

問 子育て支援センターについて問う。

答 センターの事業は支援センター事業とファミリーサポートセンター事業があり、幅広いニーズがあるので事業継続していく。



## 選挙公約



**大畠 一美 議員**

問 市長は政治姿勢として4つの理念を提示しているが、その中の一つ「市民の幸福の実現を最大の使命とします」についての考え方を問う。

答 市役所の存在の最大目的、使命は市民の幸福の実現にある。あたり前の原則だが、何か迷うことがあれば常に立ち返り、考えを正し改めていく。市役所改革の本来の目的はコスト削減、効率化も追及するが、その根本には目の前の市民の幸福が実現でき、市民サービスが充実できる市役所になることも「市民の幸福実現」につながると思う。

問 北海道の森町では、職場理念の制定により、37年間変わらなかつた組織が一日目から変化したと言われている。

問 市長は公約の中に「ホンモノの市役所改革」を掲げているが、「ホンモノ」の定義についての考え方を問う。

答 市役所改革が削減とかだけに終始してはならない。改革の原点は市民の幸福を実現することだ。職員は市民の幸福実現、市民サービスの充実を最大の目的に置く。それが「ホンモノの市役所改革」である。

問 ホンモノの市役所改革の中で「有資格エキスパートを期間雇用職員として採用し活用する」とある。現在、水道部、危機管理の部署で採用、活動しているが他にどんな種類の有資格エキスパートを考えているのか。

答 資格には、いろんな選択肢、考え方があるが弁護士、公認会計士を考えている。こ

うした職は以前、定数が少ないと希少価値で高給が補償されていた。昨今、弁護士の数も増え、司法研修所を修了してからの初任給も下がっている。それに代わる、あるいは追加できる理念については意見として聞く。

問 市長は公約の中に「ホンモノの市役所改革」を掲げているが、「ホンモノ」の定義についての考え方を問う。また人件費を抑え、かつ弁護士にとっても地方自治の現場でキャリアを積むことができると思う。

問 トワイライト事業（残業等で帰りが遅くなるときなど、午後5時から10時まで預かる事業）の導入についての見解は。

答 保護者の多様な就労状況を捉えた事業であり、ニーズを把握しながら対応を検討したい。

問 中須東原遺跡の歴史的遺産をどう活かすのか問う。

答 フィールドミュージアム（野外博物館）という考え方にして、中須東原遺跡を益田氏関連施設、関連遺跡群の全体の中での構想として検討を進めたい。



**永見 おしえ 議員**

問 鳴島はまぐりのブランド化のための研究、調査、育成、そして販売に力を入れるべきと考えるが。

答 限られた資源であり、年



間の漁獲量は6トンと定めている。水産事務所をはじめ関係機関と協議しながらプラン化に向けて取り組む。

問 子育て世代の負担を減らし、子育てしやすい環境の整備、推進について問う。

答 子育て世代のニーズを的確に把握して、子育てしやすい環境整備に努めたい。

問 トワイライト事業（残業等で帰りが遅くなるときなど、午後5時から10時まで預かる事業）の導入についての見解は。

答 保護者の多様な就労状況を捉えた事業であり、ニーズを把握しながら対応を検討したい。

問 中須東原遺跡の歴史的遺産をどう活かすのか問う。

答 フィールドミュージアム（野外博物館）という考え方にして、中須東原遺跡を益田氏関連施設、関連遺跡群の全体の中での構想として検討を進めたい。

## 安心して暮らすための取り組み

問 高齢化が進む中で、高齢者への適切な支援が必要と考える。市内で振り込め詐欺が多く発しているが現状について問う。

答 振り込め詐欺の電話がかかつてきた件数は、7月末時点で28件、被害件数は1件。安全安心メール及び告知放送で啓発を行っている。

問 成年後見人制度の周知や取り組みの現状を問う。

答 地域包括支援センターが窓口で、相談件数は年々増加傾向にある。益田鹿足後見センターや益田家庭裁判所と連携して対応している。市民の方や福祉関係者を対象とした講演会やシンポジウムの開催、チラシの配布等を行っている。

問 市民後見人の育成を図る事業についての現状を問う。

答 10月から市民後見人養成講座を開設する予定。現在既に20名の申込みがある。市民後見人の育成と活用に取り組んでいきたい。

問 通学路の緊急合同点検の

実施結果について問う。

答 7月末に完了。小・中学校からの危険箇所の報告は45カ所。警察、各道路管理者がそれぞれ現地確認を行った。11月を目途に安全対策を実施する。

問 いじめや自殺防止対策について問う。

答 子ども支援チームは、はじめ問題の対応だけでなく、自死防止の観点からも支援ができると考える。

問 事業は、8月24日の経済委員会で初めて説明があった。一回だけの調査会のみの審議で事業を進めようとするのは、市長の思いとかなりしているのではないか。事業費が8億円もする大型事業は慎重に扱るべきと考える。市民に十分説明し、合意形成を図つた上で事業実施しても遅くはないのではないか。

答 この事業の実施については時期的に迫っていることもあり今回上程した。今後は議会にも十分余裕をもつて示し、対話と協調に基づいて進めたい。説明不足という点は重々認めるが理解いただきたい。

## 中須東原遺跡の保存

問 遺跡の全面保存は将来にわたり大きな財政負担を伴うので、市民合意を得るためにどうすべきかということを所信表明で述べている。それは、対話と協調と事業を進めにあたり協議・議論を重ねるという姿勢だった。しかし、

この補正予算に計上された高額の費用は、対話と協調と事業を進めにあたり協議・議論を重ねるという姿勢だった。しかし、

この補正予算に計上された高額の費用は、対話と協調と事業を進めにあたり協議・議論を重ねるとい

## 所信表明



**安達 美津子 議員**

事業費は唐突である。この事

業は、8月24日の経済委員会調査会で初めて説明があつた。一回だけの調査会のみの審議で事業を進めようとするのは、市長の思いとかなりしているのではないか。事業費

が8億円もする大型事業は慎

重に扱べきと考える。市民

に十分説明し、合意形成を図つた上で事業実施しても遅くはないのではないか。

答 この事業の実施について

は時期的に迫っていることもあり今回上程した。今後は議

会にも十分余裕をもつて示

し、対話と協調に基づいて進

めていきたい。説明不足とい

う点は重々認めるが理解いた

だきたい。

## 学校給食センター建て替え

## 議会と首長の関係



**弥重 節子 議員**

保存のための土地買い上げに係る費用と、保存後の活

用に係る費用の二つに分けて考える必要がある。長期的な財政負担が避けられない。地

権者は地区画整理事業で土

地の価値が上がるだろうとい

う期待感を持っている。しか

し、土地の鑑定評価額は下が

る状況にあるので、地権者の期待通りになるとは限らない。そのため、その差額は市

が負担せざるを得ないと

ことになると思う。

いることを考えると、教育委員会において早急に方向性を

出して府内で合意形成を進め、議会へ示したいと考える。

問 現在、20近くの執行機関

の審議会に議員が就任してい

るが、全国市議会議長会はす

でに15年前に、「民主的な地

方制度の趣旨に反するので、

委員への就任は慎むように

と提言している。市議会でも

議会活性化推進委員会が「二

元代表制上好ましくない」と

の判断から見直しを始めてい

るが、審議会設置者としての

見解を問う。

答 二元代表制下で議会と執

行部は適切な関係を保つとい

うことを考えると、教育委員会において早急に方向性を出して府内で合意形成を進め、議会へ示したいと考える。

問 学校給食センター建設整備事業基本計画の見直しに着手し、その具体的な見直しを

教育委員会に指示したという

が、教育委員会のみでの審議

結果が今日までの混乱を招いた原因もある。見直しにあたっては、学校給食あり方検討会のような市民参加の会を立ち上げ、そこで検討を踏まえるのが早期着工になると考

えるが、審議会設置者としての

見解を問う。

答 学校給食調理場の現状

が待ったなしの状況になつて

いることを考えると、教育委員会において早急に方向性を

出して府内で合意形成を進

め、議会へ示したいと考え

る。

問 現在、20近くの執行機

会

の審議会に議員が就任してい

るが、全国市議会議長会はす

でに15年前に、「民主的な地

方制度の趣旨に反するので、

委員への就任は慎むように

と提言している。市議会でも

議会活性化推進委員会が「二

元代表制上好ましくない」と

の判断から見直しを始めてい

るが、審議会設置者としての

見解を問う。

答 二元代表制下で議会と執

行部は適切な関係を保つとい

うことを考えると、教育委員会において早急に方向性を

出して府内で合意形成を進

め、議会へ示したいと考え

る。

問 現在、20近くの執行機

会

の審議会に議員が就任してい

るが、全国市議会議長会はす

でに15年前に、「民主的な地

方制度の趣旨に反するので、

委員への就任は慎むように

と提言している。市議会でも

議会活性化推進委員会が「二

元代表制上好ましくない」と

の判断から見直しを始めてい

るが、審議会設置者としての

見解を問う。

答 二元代表制下で議会と執

行部は適切な関係を保つとい

うことを考えると、教育委員会において早急に方向性を

出して府内で合意形成を進

め、議会へ示したいと考え

る。

うことは、必要なことだと思う。議会活性化推進委員会の議論を踏まえながら検討を進めたいきたい。

問 市長は今議会の答弁で公開原則の重要性や積極的な情報公開を強調しているが、議会と執行機関との関係においても公開原則は重要だ。議員による職員への要望や提案などの働き掛けがあつた場合、文書にして上司に報告、公表する「文書化制度」の要綱制定について考え方を問う。

答 議員活動に深く関わることなので、議会側の理解が必要だと思う。議会活性化推進委員会において議論していたが、その議論を踏まえながら、執行部として検討を進めていきたい。

ついている。国並みについては、給料適正化に取り組む中で、検討を進めていきたい。

問 所信表明で官民格差をなくすと述べているが、官民格差についての認識を問う。

答 数字で一概に比較することはできないが、やはり若干高いという事実はあると思って是正の必要性はあると思つている。

## 自然エネルギー

問 公約で再生可能エネルギー拠点都市を目指すとうたっているが、自然エネルギーは全てよし、問題なしとはいかない。風力発電は低周波騒音や景観、メガソーラーも反射光や空気振動などの問題が指摘されている。自治体で責任を持つてルール作りをする必要があると思うが、どうか。

答 本市独自で何らかの許可要件や制限を加えることについては、今の段階では、具体的な検討は困難かと思う。

## 技能労務職の給与体系

問 国家公務員の現業職の給料を100とする、23年度の本市の技能労務職は123・3。このラスバイレス指数をどう受け止めているか。国並みに是正する考えはないか。

答 国・県の技能労務職と比べると、やはり若干高いと思



松本 正人 議員

## 防災対策と社会基盤の整備

問 空き家の適正管理に関する条例について、所沢市、柏市等で実例があがつてきている。この条例制定についてどのように考へるか。

答 県内においても松江市あるいは浜田市が条例制定に向けた準備を進めているということは承知している。本市においては具体的な検討には入っていないが、今後そうした自治体の例を参考にして研究をしていきたい。

問 いつ起ころかわからない地震に対して、研究、検討するではすまされないと思うが。地震で、研究していきたい。

問 研究するのではなくてこ

ういう実例が本になつてるので、本を買って本市に合つたようなものに修正すれば良いだけではないか。

答 基本的には個人の家は、その所有者に責任を持つて管理してもらうのが建前である。

答 この国営農地内で鳥獣被害があることは認識している。このクラインガルテンを開設するうえで協議をしながら、どんな対策ができるかも含めて進めていきたい。

問 猿の駆除について、豊田地区は誰々、高城地区は誰々と、獵師の方の地域制限をはずされているのにカラスについては、はずせないのか。

答 駆除班は現在、実施隊と一緒にすぐ駆けつけられるシステムを協議している。

問 高津川クラインガルテン事業計画の予定地は、四方の景色が悪い。そのことを知っているか。

答 何回もその予定地には行ってるので知っている。

問 現地を見て、こういう条件の悪い所では本市は大嘘をついたと大変なことになるとと思うが。

答 今回のクラインガルテンについては、一定時期のモニターリング等も行っている。今、言われた意見なども参考にして今後進めていきたい。

## 地域づくりの方向性



河野 利文 議員

問 選挙戦において、一極集中ではなく中山間地域でもいいきいきと人が暮らすイメージの将来像を語っているが、どう実現するのか。

答 一極集中でなく、各地域

がいきいきと発展するまちを  
どう創るかという思いであ

る。分散型によるまちづくり  
を進め、一極集中を避ける必  
要がある。

問 地域自治組織の設立を目  
指すことを柱とした地域づく  
りの方向性は変わらないのか。

答 第5次総合振興計画の中  
でも多様な主体が参加する地  
域自治組織の形成を促進する  
としている。この方向性を変  
えることなく取り組む。

## 市民力の活用

問 公約にあるまちづくり市  
民会議の設置は、視察した東  
京都清瀬市のまちづくり委員  
会のようなものか。

答 その通りである。

問 市民活動支援センターの  
今後の展開は。

答 市民活動に関する情報収  
集や研修、相談などの機能が  
活発になるように考えたい。

## 教育環境の充実

問 ふるさと教育について、  
これまで以上の取り組みを考  
えて、より良い学校のあり方を  
考えていただきたい。

答 大きな方向性は変わらない  
が、体感することで、子ど  
もの感性を高めることを重視  
したい。

問 学校給食センターについ  
て、4カ所の複数方式という  
市長の公約と議会の議決との  
かいりについてどう考えてい  
るか。

答 必ずしも交わる部分が無  
きにしもあらずと思つてい  
る。理解を得るために努力を  
していきたい。

問 地産地消についてはどう  
いう仕組みを考えているか。

答 現在の地産地消会議に生  
産者、生産団体、流通業者、  
現場の方々を加えた仕組みを  
つくりたい。

問 農業振興課が先頭に立つ  
必要があると思うが。

答 その通りである。

## 林業振興



和田 昌展 議員

答 大変壮大で、市の現状と  
行政の進み方との整合性もと  
れたビジョンである。参考に  
して取り組んでいきたい。

問 木材の販売、利用、山林  
所有者の把握など現状と課  
題、今後の対応を問う。

答 平成22年次、民有林素材  
総生産量約7万5千㎥。これ  
までの切り捨て間伐から利用  
間伐を進めるため、路網整備  
や高性能林業機械の導入など  
これまでの取り組みを考  
えて、より良い学校のあり方を  
考えていただきたい。

## 匹見ワサビについて

問 木材の販売、利用、山林  
所有者の把握など現状と課  
題、今後の対応を問う。

答 平成22年次、民有林素材  
総生産量約7万5千㎥。これ  
までの切り捨て間伐から利用  
間伐を進めるため、路網整備  
や高性能林業機械の導入など  
これまでの取り組みを考  
えて、より良い学校のあり方を  
考えていただきたい。

問 123名。平均年齢70・6歳、  
70歳以上の就農者率59%で  
高齢化が進んでいる。匹見  
農産加工場の集荷量は平成  
元年度がピークで154ト  
ン。以降、後継者不足、高  
齢化、価格の低迷など悪条  
件も重なり23年度は59トン  
まで落ち込んだ。うち加工  
原料となる茎の部分が51ト  
ンで大半を占めている。販  
路、販売額は一次加工処理  
した茎などの原料そのもの  
の販売が大部分で、農産加  
工場における販売額は23年  
度2千510万円にとどま  
っている。新たな取り組み  
として、東日本大震災以後  
しうや漬けを商品まで加工  
する作業に取り組んでい  
る。また、広高山わさび園  
地を整備し貸し付けている。  
貸付率64%。耕作放棄され  
つつある生産基盤の流動化  
対策も必要。現在4名のI  
ターン者が就農し、さらに1  
名が研修中。一般、青年部  
等の現状と課題、今後の対  
応を問う。

答 畑は12・86ha、ワサビ  
谷は3・93ha。生産組合が  
結成され、8地域で組合員  
取り組んでいきたい。



佐々木 恵二 議員

要な熱源は油で、管理運営業務に支障を及ぼすか状況を見定して判断したい。

問 家庭用太陽光発電は、補助金対策により市内電気業者が対応している。来年度も引き続き対応してはどうか。

答 地域経済への効果が大きい。今後国・県の動向も見て、継続することを前提に検討していく。

問 地域経済の活性化の一つか、公共事業の地元業者最優先である。指名基準改正の検討はいかがか。

答 公共事業の果たす役割は大で、地元雇用、税収確保、市内本店業者への配慮など発注基準の見直しを検討する。

問 美都温泉や匹見温泉では年間かなりの油を使つていい。森林資源の活用から見直してはいかがか。

答 木質バイオマスボイラーや導入と原材料供給体制の構築が必要であり、導入にかけて検討する。

問 第三セクターの赤字は油の高騰が原因している。導入検討の間、基金充当を検討してはいかがか。



益田市四ツ山城・史跡

答 今後県と協議をする。県から現在2ha以上の市有財産で、メガソーラー、小水力発電の候補地の調査依頼を受けている。

問 特区のクラインガルテンの需要の見込み、収支計画はいかがか。また、美都、匹見をつくる追加検討はできな

い。温泉近くに、クラインガルテンを目標に収支黒字化を図る。また、提案については産業経済部と十分協議し、前向きに検討する。

答 需要是十分見込め、収支計画は、料金設定を行い、管理経費を賄う。稼働率95%以上を目標に収支黒字化を図る。また、提案については産業経済部と十分協議し、前向きに検討する。

居、七尾城、益田氏の城館跡とともに今後は、歴史を活かした益田氏関連遺跡群の一体的な活用が必要と考える。

問 每年8月末の日曜日に四ツ山城祭が行われる。四ツ山城について周知することがあるか。

答 四ツ山城については、鎌倉時代に益田氏が築城した4つの山頂である。敵の侵入を防ぐ堀切堅堀と防御の施設があり、防御の堅い城で知られ、市の史跡として引き継がれている。

答 四ツ山城については、鎌倉時代に益田氏が築城した4つの山頂である。敵の侵入を防ぐ堀切堅堀と防御の施設があり、防御の堅い城で知られ、市の史跡として引き継がれている。

なまちにしたいのか将来像が見えない。考えを問う。

答 「明るく安心して暮らせるまち」の実現に向けて精一杯取り組む。そのためにも、市民、議会、行政が一緒になってまちづくりに取り組む、そんなまちにしたい。

問 産業を育て、活力と雇用を生み出す仕組みをつくるという方針の中で、ワサビ、ハマグリ等で六次産業化を目指し、益田ブランドの取り組みを進めるとのことだが、安定した生産量を確保できなければ困難だ。安定生産の考え方を問う。

答 六次産業化の基点は農林水産物であり、この生産量を安定的に確保しないことにはブランド化は難しい。担い手は高齢化しており、担い手確保が大切だ。一次産業の振興を基本として、六次産業化の研究と推進を図りたい。

問 防災対策で、津波ハザードマップはいつ市民に届くのか。自主防災組織の組織率が低いがいかがか。また、市道、県道、国道の整備の方針を問う。

答 津波ハザードマップは、

問 家庭用太陽光発電は、補助金対策により市内電気業者が対応している。来年度も引き続き対応してはどうか。

答 地域経済への効果が大きい。今後国・県の動向も見て、継続することを前提に検討していく。

問 地域経済の活性化の一つか、公共事業の地元業者最優先である。指名基準改正の検討はいかがか。

答 公共事業の果たす役割は大で、地元雇用、税収確保、市内本店業者への配慮など発注基準の見直しを検討する。

問 美都温泉や匹見温泉では年間かなりの油を使つていい。森林資源の活用から見直してはいかがか。

答 木質バイオマスボイラーや導入と原材料供給体制の構築が必要であり、導入にかけて検討する。

問 第三セクターの赤字は油の高騰が原因している。導入検討の間、基金充当を検討してはいかがか。

答 益田氏は四ツ山城に本拠地とした。都茂鉱山、三宅御土居、中須東原遺跡の歴史を活かすべきだがいかがか。

問 本市の恵まれた自然を未来の子どもたちに残して定住の促進と人口の拡大を目標にしているが、本市をどのように

答 今後県と協議をする。県から現在2ha以上の市有財産で、メガソーラー、小水力発電の候補地の調査依頼を受けている。

問 特区のクラインガルテンの需要の見込み、収支計画はいかがか。また、美都、匹見をつくる追加検討はできな

い。温泉近くに、クラインガルテンを目標に収支黒字化を図る。また、提案については産業経済部と十分協議し、前向きに検討する。

答 需要是十分見込め、収支計画は、料金設定を行い、管理経費を賄う。稼働率95%以上を目標に収支黒字化を図る。また、提案については産業経済部と十分協議し、前向きに検討する。

居、七尾城、益田氏の城館跡とともに今後は、歴史を活かした益田氏関連遺跡群の一体的な活用が必要と考える。

問 每年8月末の日曜日に四ツ山城祭が行われる。四ツ山城について周知することがあるか。

答 四ツ山城については、鎌倉時代に益田氏が築城した4つの山頂である。敵の侵入を防ぐ堀切堅堀と防御の施設があり、防御の堅い城で知られ、市の史跡として引き継がれている。

答 四ツ山城については、鎌倉時代に益田氏が築城した4つの山頂である。敵の侵入を防ぐ堀切堅堀と防御の施設があり、防御の堅い城で知られ、市の史跡として引き継がれている。

なまちにしたいのか将来像が見えない。考えを問う。

答 「明るく安心して暮らせるまち」の実現に向けて精一杯取り組む。そのためにも、市民、議会、行政が一緒になってまちづくりに取り組む、そんなまちにしたい。

問 産業を育て、活力と雇用を生み出す仕組みをつくるという方針の中で、ワサビ、ハマグリ等で六次産業化を目指し、益田ブランドの取り組みを進めるとのことだが、安定した生産量を確保できなければ困難だ。安定生産の考え方を問う。

答 六次産業化の基点は農林水産物であり、この生産量を安定的に確保しないことにはブランド化は難しい。担い手は高齢化しており、担い手確保が大切だ。一次産業の振興を基本として、六次産業化の研究と推進を図りたい。

問 防災対策で、津波ハザードマップはいつ市民に届くのか。自主防災組織の組織率が低いがいかがか。また、市道、県道、国道の整備の方針を問う。

答 津波ハザードマップは、

問 家庭用太陽光発電は、補助金対策により市内電気業者が対応している。来年度も引き続き対応してはどうか。

答 地域経済への効果が大きい。今後国・県の動向も見て、継続することを前提に検討していく。

問 地域経済の活性化の一つか、公共事業の地元業者最優先である。指名基準改正の検討はいかがか。

答 公共事業の果たす役割は大で、地元雇用、税収確保、市内本店業者への配慮など発注基準の見直しを検討する。

問 美都温泉や匹見温泉では年間かなりの油を使つていい。森林資源の活用から見直してはいかがか。

答 木質バイオマスボイラーや導入と原材料供給体制の構築が必要であり、導入にかけて検討する。

問 第三セクターの赤字は油の高騰が原因している。導入検討の間、基金充当を検討してはいかがか。

答 益田氏は四ツ山城に本拠地とした。都茂鉱山、三宅御土居、中須東原遺跡の歴史を活かすべきだがいかがか。

問 本市の恵まれた自然を未来の子どもたちに残して定住の促進と人口の拡大を目標にしているが、本市をどのように

答 今後県と協議をする。県から現在2ha以上の市有財産で、メガソーラー、小水力発電の候補地の調査依頼を受けている。

問 特区のクラインガルテンの需要の見込み、収支計画はいかがか。また、美都、匹見をつくる追加検討はできな

い。温泉近くに、クラインガルテンを目標に収支黒字化を図る。また、提案については産業経済部と十分協議し、前向きに検討する。

答 需要是十分見込め、収支計画は、料金設定を行い、管理経費を賄う。稼働率95%以上を目標に収支黒字化を図る。また、提案については産業経済部と十分協議し、前向きに検討する。

居、七尾城、益田氏の城館跡とともに今後は、歴史を活かした益田氏関連遺跡群の一体的な活用が必要と考える。

問 每年8月末の日曜日に四ツ山城祭が行われる。四ツ山城について周知することがあるか。

答 四ツ山城については、鎌倉時代に益田氏が築城した4つの山頂である。敵の侵入を防ぐ堀切堅堀と防御の施設があり、防御の堅い城で知られ、市の史跡として引き継がれている。

答 四ツ山城については、鎌倉時代に益田氏が築城した4つの山頂である。敵の侵入を防ぐ堀切堅堀と防御の施設があり、防御の堅い城で知られ、市の史跡として引き継がれている。

なまちにしたいのか将来像が見えない。考えを問う。

答 「明るく安心して暮らせるまち」の実現に向けて精一杯取り組む。そのためにも、市民、議会、行政が一緒になってまちづくりに取り組む、そんなまちにしたい。

問 産業を育て、活力と雇用を生み出す仕組みをつくるという方針の中で、ワサビ、ハマグリ等で六次産業化を目指し、益田ブランドの取り組みを進めるとのことだが、安定した生産量を確保できなければ困難だ。安定生産の考え方を問う。

答 六次産業化の基点は農林水産物であり、この生産量を安定的に確保しないことにはブランド化は難しい。担い手は高齢化しており、担い手確保が大切だ。一次産業の振興を基本として、六次産業化の研究と推進を図りたい。

問 防災対策で、津波ハザードマップはいつ市民に届くのか。自主防災組織の組織率が低いがいかがか。また、市道、県道、国道の整備の方針を問う。

答 津波ハザードマップは、

問 家庭用太陽光発電は、補助金対策により市内電気業者が対応している。来年度も引き続き対応してはどうか。

答 地域経済への効果が大きい。今後国・県の動向も見て、継続することを前提に検討していく。

問 地域経済の活性化の一つか、公共事業の地元業者最優先である。指名基準改正の検討はいかがか。

答 公共事業の果たす役割は大で、地元雇用、税収確保、市内本店業者への配慮など発注基準の見直しを検討する。

問 美都温泉や匹見温泉では年間かなりの油を使つていい。森林資源の活用から見直してはいかがか。

答 木質バイオマスボイラーや導入と原材料供給体制の構築が必要であり、導入にかけて検討する。

問 第三セクターの赤字は油の高騰が原因している。導入検討の間、基金充当を検討してはいかがか。

答 益田氏は四ツ山城に本拠地とした。都茂鉱山、三宅御土居、中須東原遺跡の歴史を活かすべきだがいかがか。

問 本市の恵まれた自然を未来の子どもたちに残して定住の促進と人口の拡大を目標にしているが、本市をどのように

答 今後県と協議をする。県から現在2ha以上の市有財産で、メガソーラー、小水力発電の候補地の調査依頼を受けている。

問 特区のクラインガルテンの需要の見込み、収支計画はいかがか。また、美都、匹見をつくる追加検討はできな

い。温泉近くに、クラインガルテンを目標に収支黒字化を図る。また、提案については産業経済部と十分協議し、前向きに検討する。

答 需要是十分見込め、収支計画は、料金設定を行い、管理経費を賄う。稼働率95%以上を目標に収支黒字化を図る。また、提案については産業経済部と十分協議し、前向きに検討する。

居、七尾城、益田氏の城館跡とともに今後は、歴史を活かした益田氏関連遺跡群の一体的な活用が必要と考える。

問 每年8月末の日曜日に四ツ山城祭が行われる。四ツ山城について周知することがあるか。

答 四ツ山城については、鎌倉時代に益田氏が築城した4つの山頂である。敵の侵入を防ぐ堀切堅堀と防御の施設があり、防御の堅い城で知られ、市の史跡として引き継がれている。

答 四ツ山城については、鎌倉時代に益田氏が築城した4つの山頂である。敵の侵入を防ぐ堀切堅堀と防御の施設があり、防御の堅い城で知られ、市の史跡として引き継がれている。

なまちにしたいのか将来像が見えない。考えを問う。

答 「明るく安心して暮らせるまち」の実現に向けて精一杯取り組む。そのためにも、市民、議会、行政が一緒になってまちづくりに取り組む、そんなまちにしたい。

問 産業を育て、活力と雇用を生み出す仕組みをつくるという方針の中で、ワサビ、ハマグリ等で六次産業化を目指し、益田ブランドの取り組みを進めるとのことだが、安定した生産量を確保できなければ困難だ。安定生産の考え方を問う。

答 六次産業化の基点は農林水産物であり、この生産量を安定的に確保しないことにはブランド化は難しい。担い手は高齢化しており、担い手確保が大切だ。一次産業の振興を基本として、六次産業化の研究と推進を図りたい。

問 防災対策で、津波ハザードマップはいつ市民に届くのか。自主防災組織の組織率が低いがいかがか。また、市道、県道、国道の整備の方針を問う。

答 津波ハザードマップは、

10月末にはデータの作成が完了の予定。その後印刷し配布する。自主防災組織の結成は住民の意識啓発が重要でありその啓蒙に努めている。現在結成している組織で連絡会を開催する。市道整備は、緊急度に応じて工事を実施している。県道はパトロール等により危険箇所を把握し隨時改修されている。国道は交通事故多発区間、危険箇所の交差点や歩道の整備等の交通安全対策を実施されている。

## 水道事業経営あり方検討委員会からの答申

問 答申について、部内での協議検討は実施したのか。特に管路の老朽化対策は計画的な更新が必要だ。また、簡易水道と飲料水供給施設を上水道事業に一本化する予定だが、統合後の経営は大丈夫か。

答 部内で協議したが改めて市長と協議したい。管路の老朽化対策については、橋梁に添架している配水管の整備、未普及地域解消事業が解消する平成25年度以降に進めた

い。統合後の経営は厳しい状況が予想されるので、一般会計からの繰り入れ等の課題もあり調整を図り協議を行う予定。

正規職員の手話通訳士の任用は欠かせないものと思うが。答 このたびの選挙戦を通じて障がい者関係の団体の方々にもたくさんお会いした。さまざま不安と不便を抱えて日常を送っておられるということがよくわかった。障がいがあるなしにかかわらず、地域社会全体で支援するバリアフリー社会の実現は、行政の大きな課題であると考えている。聴覚障がい者のコミュニケーション支援体制を充実することは、市の重要な施策の一つとして市政運営を行いたいと考えている。

問 各地区個人演説会で手話通訳者を配置し、福祉に対する思いを態度で示されたことは高く評価する。昨年8月、障害者基本法の一部が改正され、「手話が言語である」と法に加筆された。

直接的に支援する市役所職員が言語である手話を使いこなし、しかも聴覚障がい者の困難さ、日本語が分からぬ、自分はだめだ等々そういう心理状態も含め、理解ができる



福原 宗男 議員

答 全ての障がい者の方が社会参加できる、その機会と環境を整えることは、市政の上でも極めて重要な課題であると思う。今議員から提案があった市の正規職員として手話通訳士を配置することは、聴覚障がい者のコミュニケーション支援体制を充実することと、市役所職員が言語である手話を使いこなす態度で示されたことは、高く評価する。昨年8月、障害者基本法の一部が改正され、「手話が言語である」と法に加筆された。

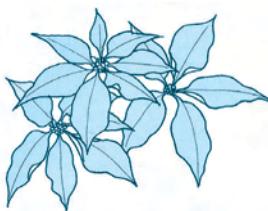
問 行政を進める上で専門の職員が必要であり、保健師を配置、社会福祉士や精神保健福祉士あるいは建築士等々を任用している。それと全く同じように手話通訳士も配置すべき。障がい者は子育て世代を支援していく上で、考えられない」と回答された。今回の所信表明の中では、子育て世代を支援していくことの保育料を軽減することができないかと質問したが、数万円単位で査定をしているの

前向きに検討していきたい。  
問 6月議会で前市長に、所得が大幅に下がった転入世帯の保育料を軽減することができなかつたと質問したが、数万円単位で査定をしているの

答 子育て世代の負担を軽減したい。財政事情も大変厳しくないが、じつくりと検討したい。



議場での手話通訳





梅谷憲二議員

する道の駅との連携を図ることを考え、設置方法等について検討していきたい。

と公約しているが。

**答** まことに申上げること至つ  
**問** どういった規模でどこにつくるのか。

答 三十九  
目 二  
レバ  
二、

**問 再生可能エネルギーの取り組みについて問う。**

## 答 農山村の資源を活用して

雇用と所得を創出し、活性化につなげたい。

問 公約では地元産木材を伸

制度を整備したいとしている

が、具体的には。

答 高津川流域産材活用の策  
点から循環型林業の確立を促

進する上で木造建築への補助制度も大いに意味があると考

制度ではないに意味がある。云  
えており、検討していきたい

問 公約には「再生可能エネ

あるが、構想を問う。

答　長い日照時間など本市の有利な条件を生かし、実証害

験などの可能性をアピール

関連企業を説致し、活力と運用を生み出せると考えていい

「益田尺舎喬土比こはり  
問 る。」

問一益曰驥舍橋上行之○



### ◆本議会の内容を詳しく知り

を（12月中旬予定）議会事務局・総合支所・地区振興センター・図書館でご覧ください。

問 市が思うだけか、JRがやりたいのか。事業化にあたっては市が補助を出すのか。

7月29日に市長選・市議会議員補欠選挙の投票が行われました。その結果山本市長が当選され、9月定例議会は新市長になつて初めての議会となりました。

編集後記

◆◆編集委員◆◆

委員長 永見 おしえ  
委員會 委員會 委員會 委員會 委員會 委員會  
委員長 永見 おしえ